

2026年3月8日 受難節第3主日 礼拝次第

進級・卒業全体礼拝

前奏 (黙想)

招きの言葉 イザヤ書48章12～13節(旧約1141 ㊦)

讃美歌 37(いと高き神に)

主の祈り <C>(讃美歌93-5)

詩編交読 詩31編8～14節(交読詩編36 ㊦)

聖書 マルコによる福音書8章27～33節(新約77 ㊦)

祈禱

讃美歌 298(ああ主は誰がため)

説教 「だれにも話さないよう」 田中雅弘牧師

讃美歌 291(み神の座を捨てて)

信仰告白 使徒信条(讃美歌93-4)

献金

讃美歌 88(こころに愛を)

派遣祝福

後奏 (黙想)

報告

※讃美歌は原則として全節を歌います。

聖書 マルコによる福音書8章27～33節

ペトロ、信仰を言い表す

27 イエスは、弟子たちとフィリポ・カイサリア地方の方々の村にお出かけになった。その途中、弟子たちに、「人々は、わたしのことを何者だと言っているか」と言われた。28 弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言う人も、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」29 そこでイエスがお尋ねになった。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」30 するとイエスは、御自分のことをだれにも話さないようにと弟子たちを戒められた。

イエス、死と復活を予告する

31 それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日の後に復活することになっている、と弟子たちに教え始められた。32 しかも、そのことをはっきりとお話しになった。すると、ペトロはイエスをわきへお連れして、いさめ始めた。33 イエスは振り返って、弟子たちを見ながら、ペトロを叱って言われた。「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている。」

主の祈りC(讃美歌21 93-5-C)

司式者) 天の父

一 同) わたしたちの父よ、

み名があがめられますように。

あなたの国が来ますように。

みこころが天と同じく地でも行われますように。

きょうのパンを きょうお与えください。

わたしたちの負い目をおゆるしてください。

わたしたちも負い目をゆるし合います。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

かえって悪からお救いください。

国も力も栄えも、限りなくあなたのものです。アーメン

讚美歌37番

- いと高き神に 栄えあれ、とわに。
そのいつくしみを たたえ、感謝せよ。
みこころに適う 人々すべてに。
平和を賜えば。
- 父なるみ神を ほめたたえ崇めん。
み旨にしたがい 世を治めたもう。
み国とちからと 栄光はつねに
すべて神のもの。
- 主イエス・キリストよ、神の独り子よ、
この世の罪とが あがなう小羊。
われらをあわれみ、ささぐる祈りを。
受け入れたまえや。
- 聖霊の神よ、慰めたもう主
迫りくる悪を 打ち砕きたま
たえざる悩みと きびしき試練に
勝たしめたまえや。

讚美歌 291番

- み神の座を捨て 人となられた主、
まことの王なる まことの祭司の
主を賛えよう。
- 婚礼の席で 奇跡を起こされ、
神殿の中で 教えを説かれた
主を賛えよう。
- 背いたものをも 大切にされて、
罪人たちさえ 深く愛される
主を賛えよう。
- 病めるものたちを 見捨てることなく、
御言葉を与え、深くなぐさめる
主を賛えよう。
- 低くへりくだり 人々を救い、
高く昇られて 世界を治める
主を賛えよう。

讚美歌298番

- ああ主は誰がため 世にくだりて、
かくまでなやみを うけたまえる。
- わがため 十字架に なやみたもう
こよなきみ恵み はかりがたし。
- 主は人の罪を 負いたまえば、
照る日もかくれて 闇となりぬ。
- 十字架のみもとに ころせまり、
涙にむせびて ただひれ伏す。
- なみだも恵みに むくいがたし、
この身をささぐる ほかはあらし。

讚美歌88番

心に愛を 豊かにみだし
日ごとのわざに つかわしたまえ